



2015年6月10日

おきぎん県内景況・確報 2015年4月

-県内景況は、拡大している-

○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月上回る。百貨店売上高も上回る。
家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。
新車販売台数…レンタカー需要の増加などから前年同月上回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年の反動などで前年同月を下回る。
住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントも下回る。

○観光関連

入域観光客数…31ヵ月連続で前年同月上回る。
観光施設入場者数…14ヵ月連続で前年同月上回る。
主要大型ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月上回り、リゾートホテルは下回る。
ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価は前年同月上回り、宿泊収入も上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。
有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(3月)…前月より上昇。
大口電力使用量…前年同月を下回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月上回り、ガソリン(レギュラー・軽油)価格は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2015年4月分)

◎2015年4月 おきぎん「カトレア」景況図



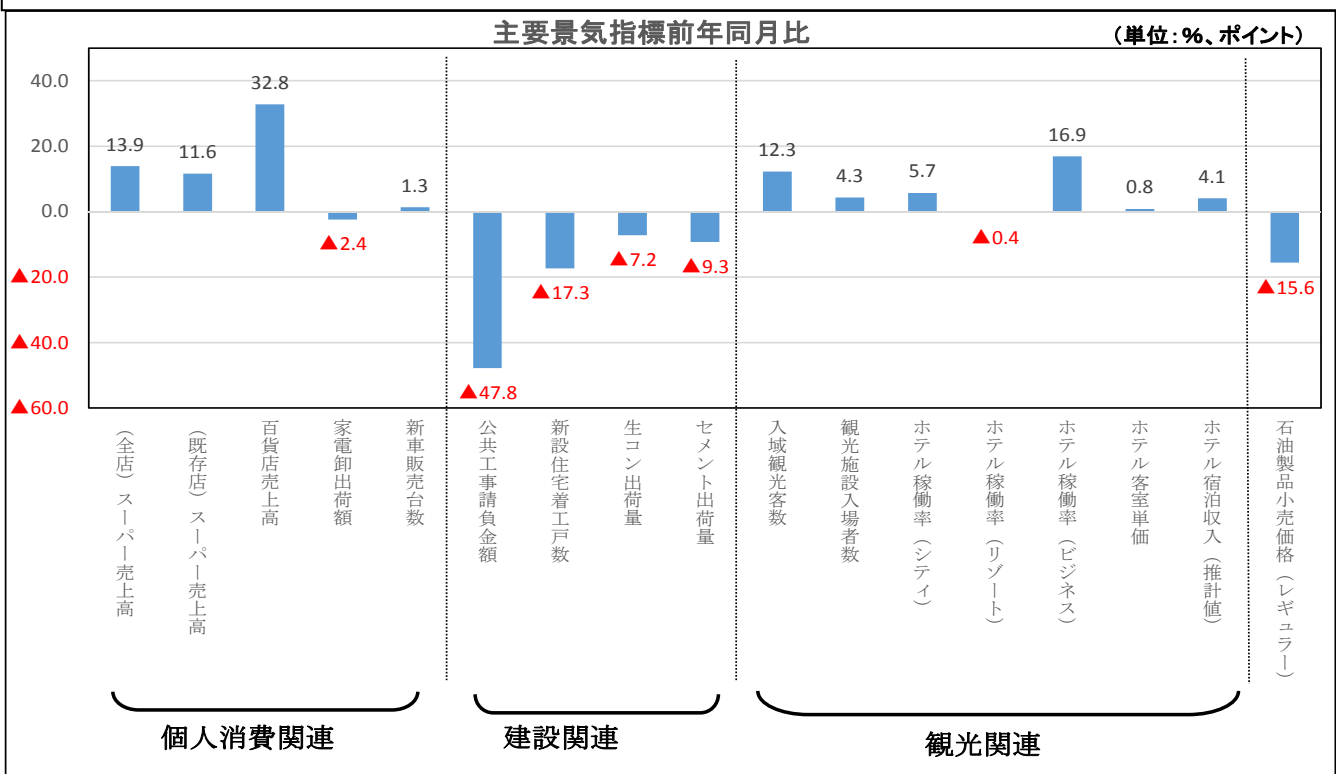
◎概況： 県内景況は、拡大している。

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や食料品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数はレンタカー需要の増加などから前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、前年多かった大型工事の反動などで前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントも下回りました。

観光関連では、入域観光客数は31ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連において前年の大型工事の反動などで下回り、個人消費は前年の消費税増税に伴う落ち込みからの反動増がみられる中、観光関連では堅調な動きが続いていることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から15ヵ月連続で判断維持)



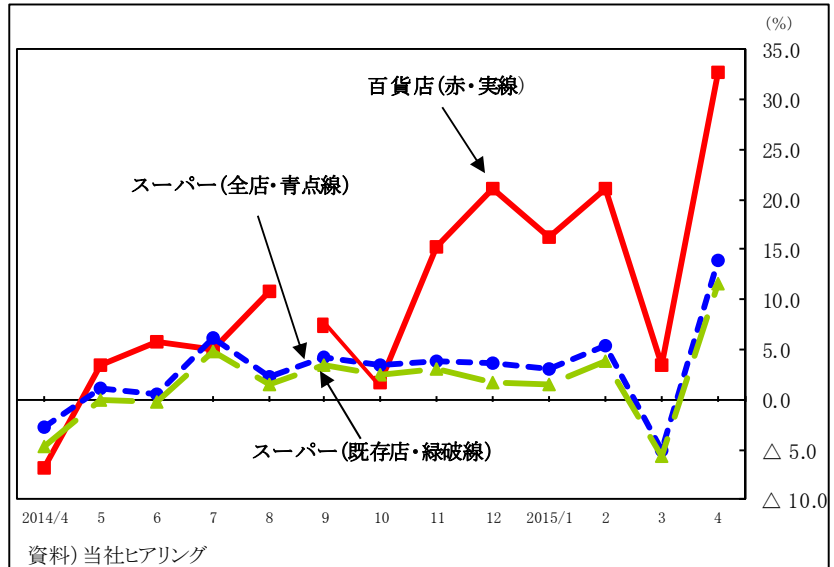


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3
2	5.4	3.8	21.0
3	△ 5.1	△ 5.7	3.5
4	13.9	11.6	32.8



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い、8月までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

4月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 13.9%増)**」が2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増や新規出店効果などから、ウエイトの高い「食料品(同 11.7%増)」を中心に前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同 11.6%増)**」は一部店舗の改装による集客効果などから、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 9.9%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「衣料品(同 15.8%増)」は気温が高く推移したことから、夏物衣料の売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 17.4%増)」も訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類など)により、前年同月を上回りました。

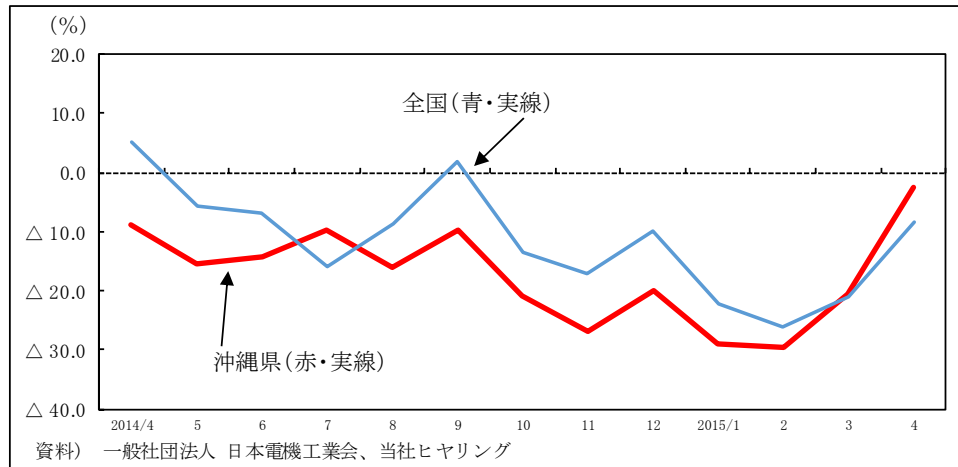
百貨店売上高*は前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増に加えて、「衣料品」や「食料品」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同 32.8%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 22.8%増)」は気温が高く推移したことなどから紳士服の衣替え需要が好調だったほか、主力商品の「婦人服(同 18.0%増)」も販促強化により売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。「食料品(同 29.2%増)」も、テナント改装や催事開催による集客効果などから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 69.5%増)」や「身の回り品(同 25.0%増)」では、継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2014/4	△ 8.7	5.3
5	△ 15.3	△ 5.7
6	△ 14.2	△ 6.8
7	△ 9.6	△ 15.9
8	△ 16.1	△ 8.6
9	△ 9.7	1.9
10	△ 20.8	△ 13.6
11	△ 26.9	△ 17.0
12	△ 20.1	△ 10.0
2015/1	△ 29.1	△ 22.1
2	△ 29.6	△ 26.0
3	△ 20.6	△ 20.9
4	△ 2.4	△ 8.4



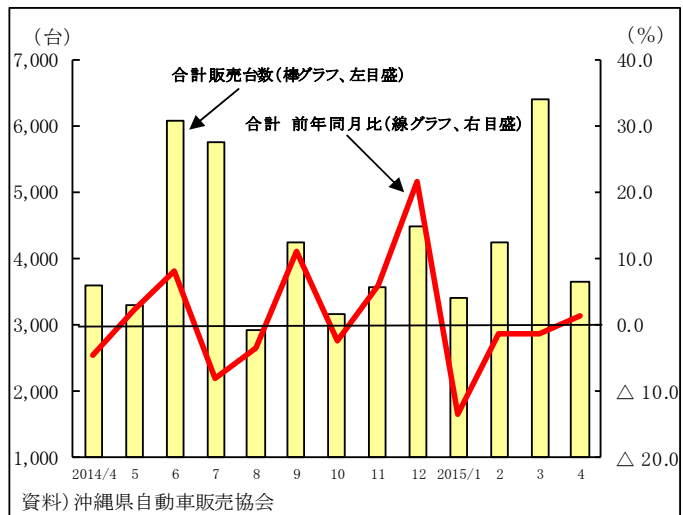
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増があったものの、継続的な太陽光パネルの売上減少により13ヵ月連続で前年同月を下回りました(同2.4%減、太陽光の影響を除くと22.8%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同82.1%減)」は新規接続中止の影響から売上減少が続いていること、「冷蔵庫(同3.9%減)」では前年に消費税増税の影響で卸出荷時期が4月にずれ込んだ反動減などから前年同月を下回りました。一方、「テレビ(同21.8%増)」、「洗濯機(同34.4%増)」は前年の落ち込みからの反動増などにより、「エアコン(同40.8%増)」は販促強化や気温が高く推移したことなどから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要の増加などから、前年同月を上回る。

単位:台,%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2014/4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8
10	3,152	△ 2.3	△ 6.1	△ 35.1	12.3
11	3,554	5.9	△ 29.2	△ 3.5	14.0
12	4,483	21.5	△ 17.7	△ 11.3	43.9
2015/1	3,394	△ 13.6	△ 17.0	△ 19.1	△ 13.9
2	4,248	△ 1.4	△ 25.8	24.6	△ 8.5
3	6,390	△ 1.4	△ 8.0	△ 21.6	10.6
4	3,637	1.3	27.6	28.7	△ 20.3



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,637台(同1.3%増)となり、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増やレンタカー需要の増加などから4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では「軽乗用車(同20.3%減)」が軽自動車税増税の影響などから2ヵ月ぶりに下回ったものの、レンタカー需要の増加などから「普通乗用車(同27.6%増)」が7ヵ月ぶり、「小型乗用車(同28.7%増)」が2ヵ月ぶりに上回りました。 ※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

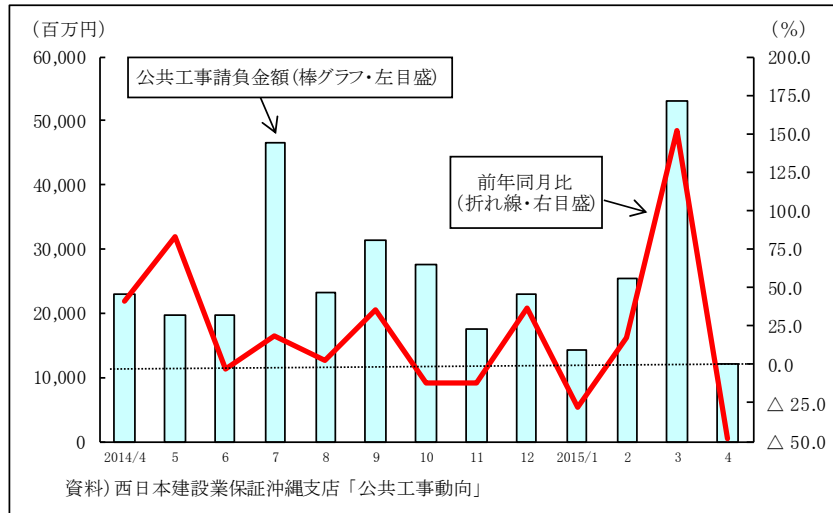


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1
3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8

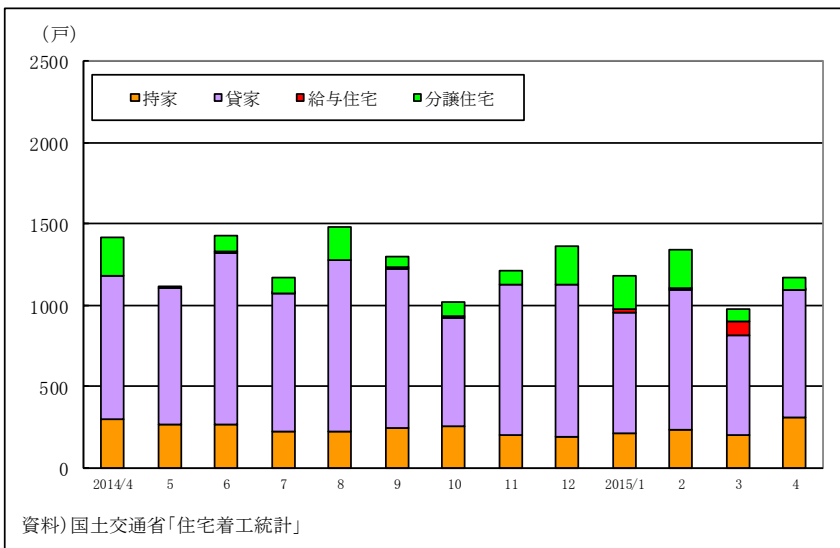


4月の**公共工事請負金額**は、前年同月比47.8%減の119億9,100万円となりました(3ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「国(同52.2%減)」は前年あった高架橋関連工事や中城湾港関連工事など、「独立行政法人等(同97.8%減)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同49.3%減)」は沖縄県総合運動公園競技場改修工事、「市町村(同28.8%減)」は市営住宅建替工事や小中学校関連工事、「その他の公共的な団体(同74.4%減)」はし尿処理施設関連工事などの反動で前年同月を下回りました。

住宅投資等…着工戸数は前年同月を下回り、生コン・セメントも下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2014/4	1,418	36.2
5	1,116	25.0
6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0
8	1,482	△5.3
9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1
3	980	△36.4
4	1,172	△17.3

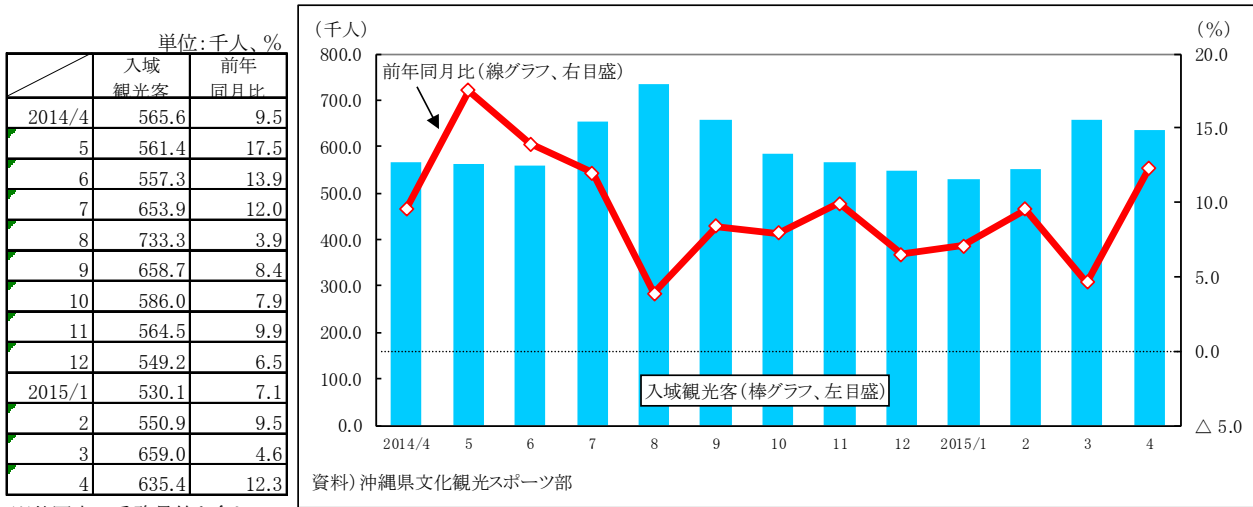


4月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比17.3%減の1,172戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同6.8%増)」が前年同月を上回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同11.7%減)」や「分譲住宅(同69.6%減)」が前年同月を下回り、全体を押し下げました。**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は7.2%減少し、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より2.1%上回ったものの、民間工事向け出荷は11.4%下回りました。**セメント**の出荷量は9.3%減と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。



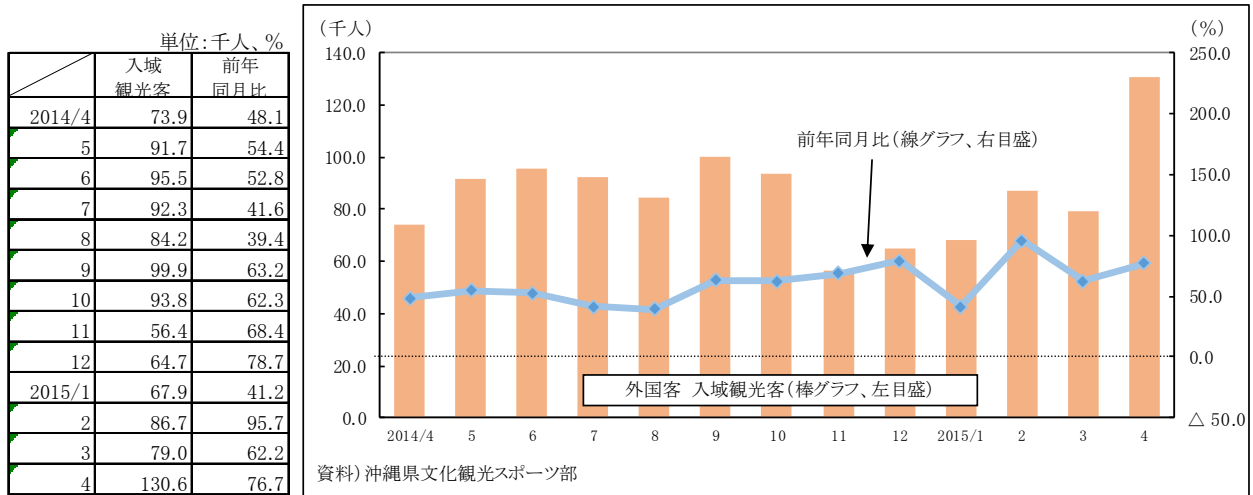
■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…31ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…21ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

4月の入域観光客数は、69,800人多い635,400人(前年同月比12.3%増)となり、31ヵ月連続で前年同月を上回りました。(4月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同2.7%増)」は504,800人と、成田路線及び名古屋方面において一部の航空路線運休・撤退の影響等がみられたものの、全体では航空路線の拡充などにより東京、関西、福岡方面からの入込が好調に推移し、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同76.7%増)」は、130,600人と21ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。「台湾(同48.5%増)」「韓国(同110.2%増=約2倍)」「中国本土(同296.4%増=約4倍)」「香港(同37.4%増)」

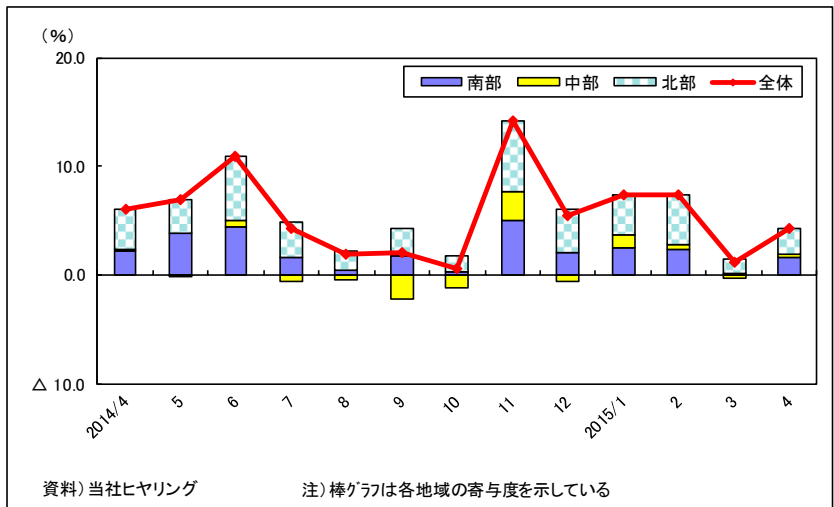
※乗務員等を除く2015年4月実績=全体624,000人(同12.5%増)、外国客119,200人(同88.9%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…14ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△4.6	6.0
8	1.8	1.3	△3.0	3.4
9	2.0	5.1	△16.6	4.8
10	0.6	0.7	△8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△2.2	2.9
4	4.3	4.1	2.1	5.1

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より4.3%増加(14ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同4.1%増と18ヵ月連続、中部は同2.1%増と2ヵ月ぶり、北部は同5.1%増と14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

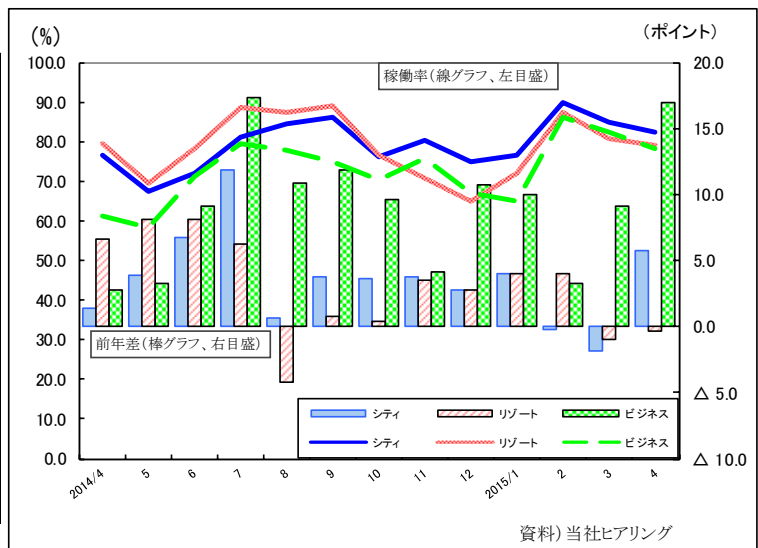
③ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

単位: %, ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△1.9	△1.0	9.1
4	82.2	79.1	78.1	5.7	△0.4	16.9

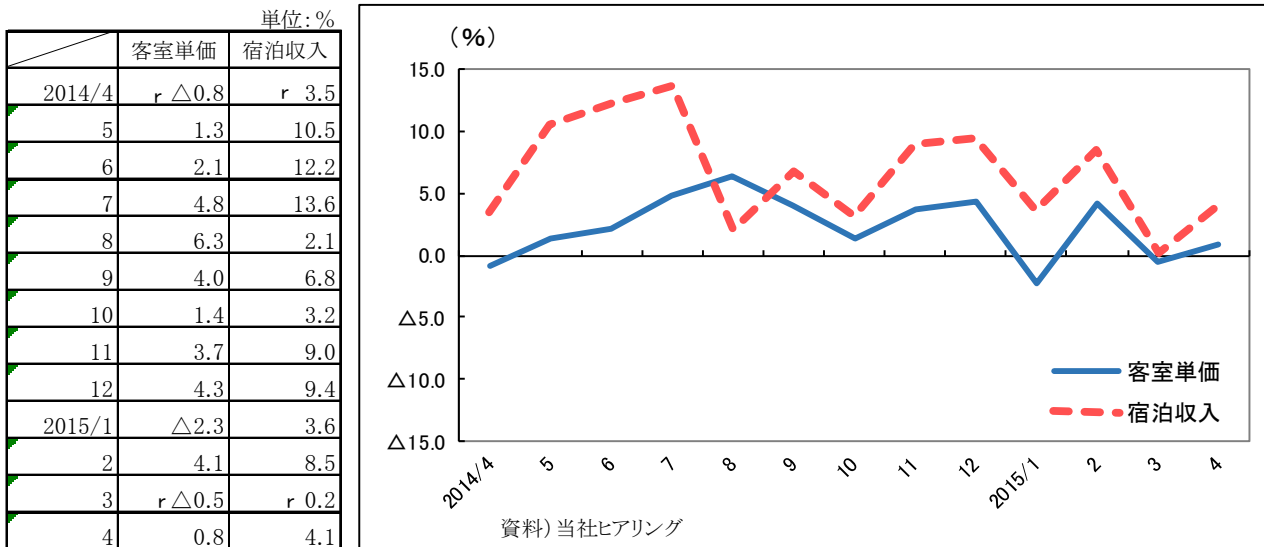
注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが82.2%と5.7ポイント上昇(3ヵ月ぶり)、リゾートホテルが79.1%と0.4ポイント下落(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが78.1%と16.9ポイント上昇(18ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

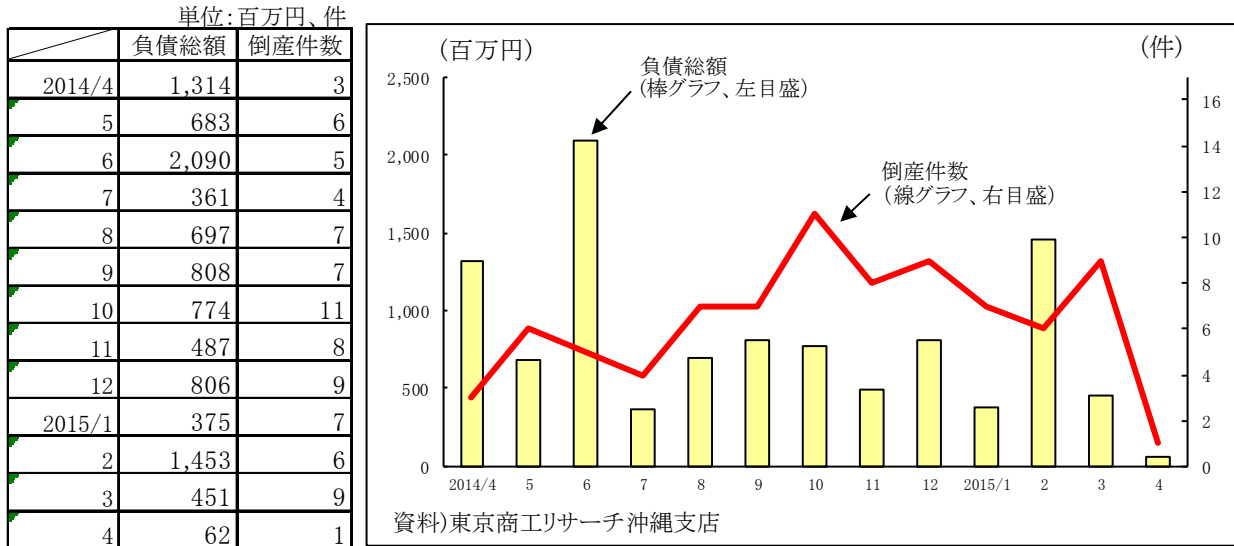
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比0.8%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同4.1%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

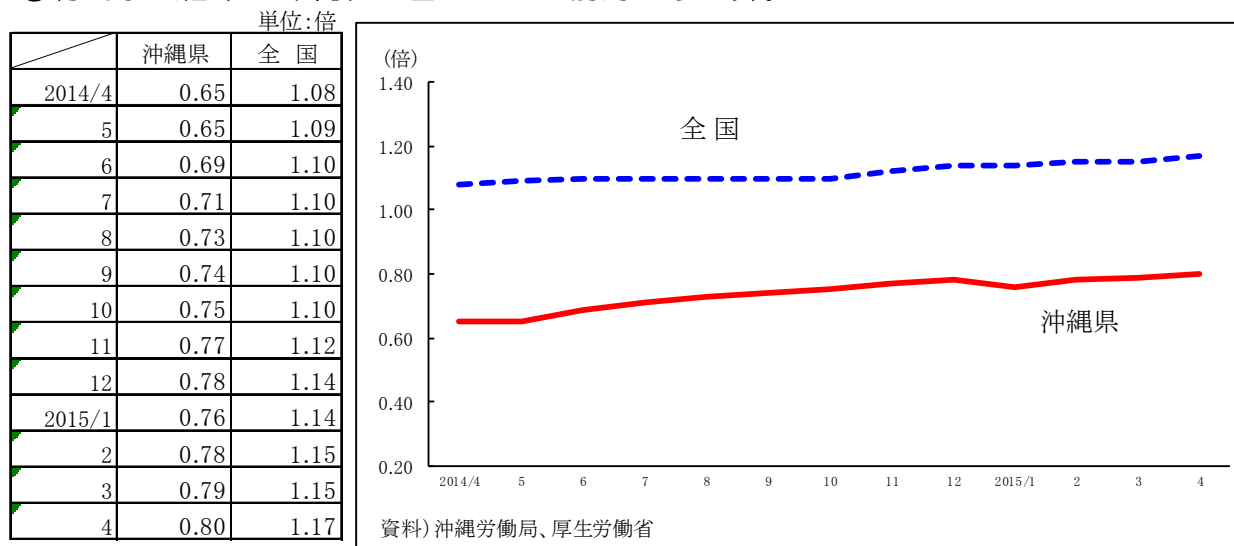
企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。



4月の**企業倒産件数**は、1件(うち、1億円以上の大口倒産は無し)発生し前年同月より2件少なく、負債総額は6,200万円と95.3%減少しました。


■雇用関連:  (やや良い)

①有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より上昇。



注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

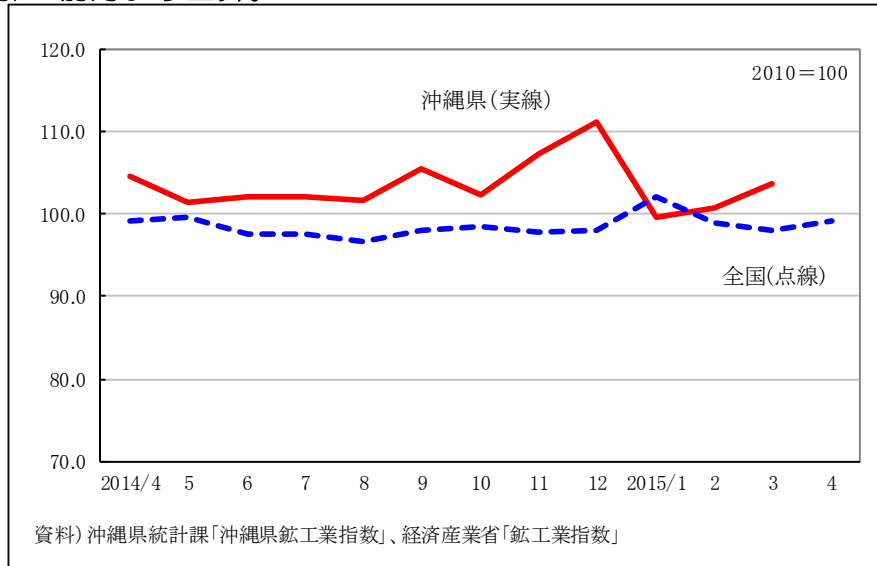
4月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.9%増の23,282人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.3%増の28,922人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は5.0%となり、前年同月より0.8ポイント低下しました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数(3月)…前月より上昇。

	沖縄県	全国
2014/4	104.5	99.2
5	101.5	99.5
6	102.2	97.6
7	102.0	97.5
8	101.7	96.7
9	105.6	98.1
10	102.4	98.5
11	107.2	97.9
12	111.1	98.1
2015/1	99.7	102.1
2	100.8	98.9
3	103.7	98.1
4	-	P 99.1

注) 数値は季節調整済指数

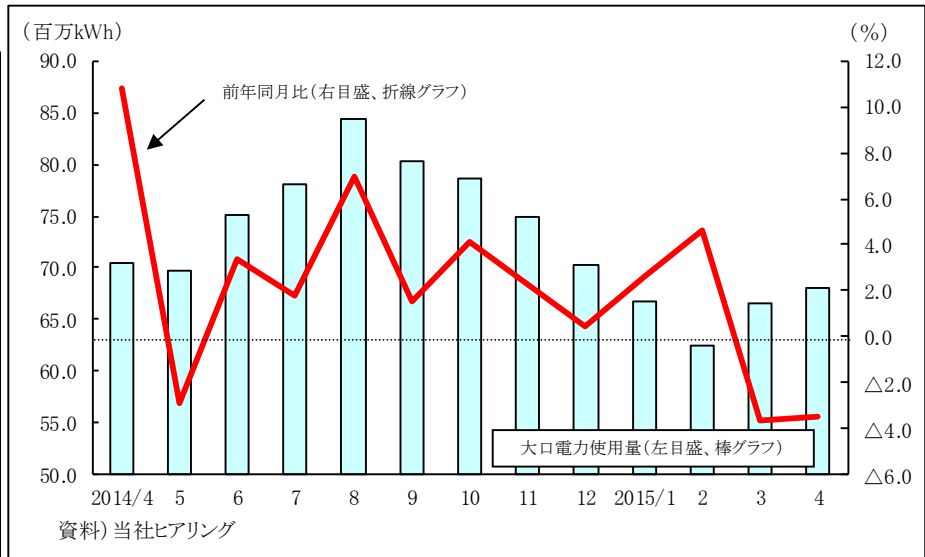


鉱工業生産指数(県内:3月)は、前月より 2.9% 上昇し、103.7 となりました。産業別にみると、「その他の工業(同 45.1%増)」や「窯業・土石製品工業(同 5.8%増)」、「鉄鋼業(同 5.6%増)」等の業種で前月を上回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を下回る。

単位: 百万kWh、%

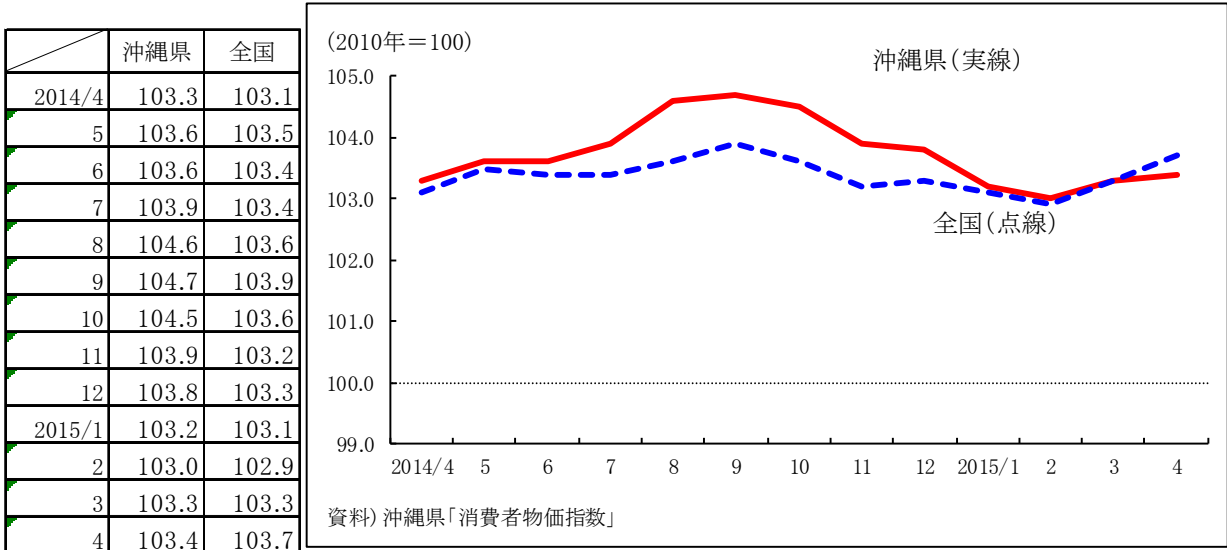
	大口電力 使用量	前年 同月比
2014/4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9
6	75.1	3.4
7	78.0	1.8
8	84.4	7.0
9	80.4	1.5
10	78.6	4.1
11	75.0	2.3
12	70.3	0.4
2015/1	66.8	2.6
2	62.5	4.6
3	66.6	△3.7
4	68.1	△3.4



4月の大口電力使用量は、全体で 68.1 百万 kWh となり、前年同月を 3.4% 下回りました。内訳では、「窯業土石製造業(同 30.1%減)」や「鉄鋼工業製造業(同 10.7%減)」が生産量の減少などで前年同月を下回りました。

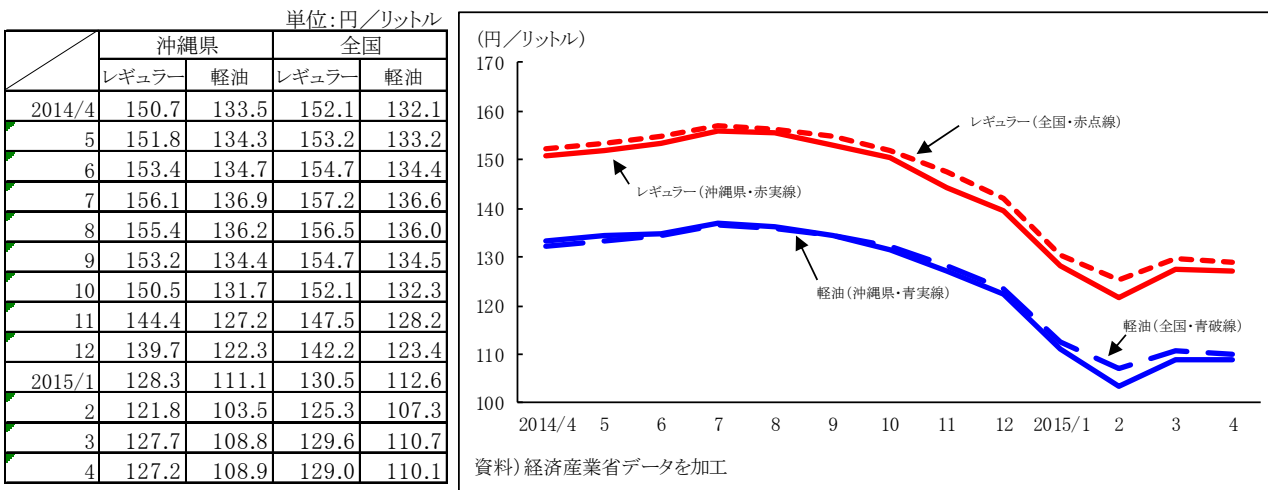
■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。



4月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.1%上昇し、103.4となりました。内訳をみると、生鮮野菜を含む「食料(同2.3%増)」や洋服などを含む「被服及び履物(同4.0%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格(税抜き)…レギュラー、軽油価格はともに前年同月を下回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

注) 本データについて消費税率引き上げに伴い、当月より税抜き価格を表示している。

4月のガソリン小売価格等(税抜き)において、原油価格の下落などで県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より15.6%、軽油小売価格は前年同月より18.4%下落しました。